

一般質問発言通告書

発言順位 4 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

平成27年 6月16日

三島市議会議員 松田吉嗣様

三島市議会議員 4番 大石 一太郎



質問事項1	高齢化対策について
具体的内容	
<p>三島市内の高齢化は深刻であり、平成37年問題を見据え、高齢化率の高い地域3ヶ所程度を選定し、地域の高齢者の生活実態調査と地域ニーズの把握、必要な政策の立案と具体的な施策、地域包括ケア体制の構築に向けた三島版「(仮称) 高齢者アメニティ住環境整備モデル事業」を展開したらどうか。また不足する介護人材の確保、育成策について伺います。</p>	
1 地域実態の把握と、団塊の世代が後期高齢化する37年を見据え、今どのような施策が必要であり、地域包括ケア体制の構築に向けどのように施策を展開する考えか。また三島版「(仮称) 高齢者アメニティ住環境整備モデル事業」を立ち上げ、取り組まないか。	
2 国の介護福祉政策に体系性が見られず、地域の在宅、施設は乱立気味、地方として不足する介護人材の確保、育成についてどのように取り組んでいくのか。	
質問事項2	少子化対策について
<p>高齢化の対極にあるのが少子化ということになります。出生率の低下を止めるためには、子どもを産み育てる環境づくりが大切となります。子育て支援の三島と言われるための施策と、婚活事業への取り組みの充実を図れないかについて伺います。</p>	
1 第3子に対する保育料の免除対象年齢を18才に引き上げ、無料化することを検討できないか。該当する児童数、必要とされる財政支出額、保育料無料化への考えをお聞きしたい。	
2 非婚ひとり親に対する寡婦控除の適用については、一人親家庭の貧困率は54.6%と高く、みなし寡婦控除の適用は子どもの貧困化の防止にも繋がる政策であり、離婚等による一人親と同様に扱い、みなし寡婦控除の適用はできないか。	
3 日本全体の人口が減少する中、金太郎あめの類似した定住化政策で、近隣市町村の限られた人口のパイを食い合っても仕方ない。もっと積極的に婚活事業等を推進し、人口のパイを増やす政策の展開が必要。市に担当の係を設け、民間の婚活事業者や婚活を進めるボランティア、NPO法人との連携、地域での「世話焼き人」づくり等、「絆づくり」も含め、取り組んだらどうか。	
質問事項3	発達障害児・者対策について
<p>平成26年1月の「障害者権利条約」の批准、発効以降最初の計画書として、第4期「三島市障害福祉計画」が作成され、その文中児童発達支援センターの整備が明記され、発達障害児・者への取り組みが一步前進することとなる。今後の整備の考え、進め方について聞くとともに、八反畑幼稚園跡地の利活用について伺います。</p>	
1 施設の整備計画と並行し、職員の採用、配置計画も大切。具体的な時期は、	
2 広報で障がい者への理解の輪を広げるため、特集を年1~2回掲載出来ないか。	
3 八反畑幼稚園跡地に整備される療育支援室分室の整備内容及び利用開始の時期は、	